

ディスク・SDメモリーカードの取り扱い

DVD/DVD-R/DVD-RW/音楽CD/CD-R/CD-RW

持ちかた

記録面に手を触れないように持ってください。



ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



記録面
内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状のCD規格に合致しないディスクであり、本機での再生および録音は保証致しかねます。

通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

CD-R/RWディスクのご使用について

CD-DA、MP3、WMA以外のデータを保存したCD-R/RWディスクは、再生できません。

- CDレコーダー (CD-R/RWドライブ) で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

DVD-R/RWディスクのご使用について

DVDフォーマット (DVD-Video、DVD-VR) 以外のデータを保存したDVD-R/RWディスクは再生できません。

- ファイナライズされていないDVD-R/RWディスクは再生できません。
- 録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生されない場合があります。
- 片面2層のDVD-Rは、正常に再生できない場合があります。

下記のようなディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

円形以外の特殊な形状のディスク



ハート形

三角形

カード型

ラベルなどを貼り付けたディスク



シールやテープ、のりが付着している



プリンターで作成したラベル

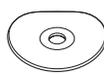


プロテクトフィルム、保護シート

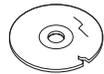


ディスクアクセサリ (スタビライザーなど)

破損・変形したディスク



そっている



ひびやキズがある
欠けている

透明なディスク

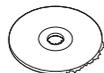


全体が透明



一部が透明

粗雑なディスク



バリがある

SDメモリーカード

本機は2 GBまでのSDメモリーカードに対応しています。
4 GB以上のカード (SDHCメモリーカード) は、規格が異なるため使用できません。

データやSDメモリーカードの破損、および本機の故障の原因になることがありますので、次のことをご守りください。(データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。)

- SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源を切らない。
- 本機から取り出したら、必ずケースに収納する。
- 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚さない。
- 貼られているラベルをはがさない。
- シールやラベルを重ねて貼り付けない。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない。
- miniSDカード/microSDカードを本機のSDメモリーカード挿入口に入れる場合は、必ず専用のアダプター (miniSDカード/microSDカードに付属) を装着してください。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ (車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気にふれるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。

この著作権保護技術の使用はマクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。

分解したり、改造することも禁じられています。